

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



東京タワーで記念写真

2009年  
7  
月号



## 目次

巻頭文、 外に出よう（メンバー編）	・・・ 2
外に出よう（ボランティア編）	・・・ 3
外に出よう（各班の行程）	・・・ 5
寄付のお礼、スケジュール	・・・ 7
虫めがね	・・・ 8
実習所報告、夕会	・・・ 10
太田さん連載（最終回）	・・・ 11
小野塚さん連載	・・・ 12
学習会報告	・・・ 13
Tシャツ・タオル 販売のお知らせ	・・・ 14
編集後記	・・・ 16



# 特集

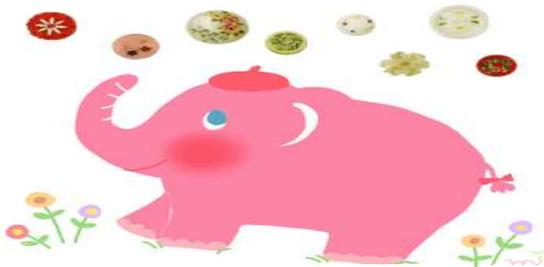
障害者は外に出よう

古き良き東京を訪ねて  
—浅草から谷根千まで—



梅雨も本格的になつてき  
た今日この頃、皆様如何  
お過ごしでしょうか？  
僕は雨（特に大雨）は大好きで  
すが、ジメジメして蒸し暑い天気  
が嫌いです。

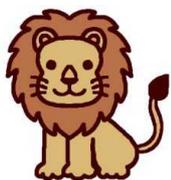
田村 亮彦

今年の外へ出ようは上野浅草でしたが、先週中止になったので本部も少し無理をして行ったらしく、午後からは雨に降られたりしました。私達のグループは動物園がメインでしたが、その前に谷中の墓地へ行き第十五代将軍、徳川慶喜のお墓を見てきました。動物園ではみんなが嫌がるので私は諦めようと思っていたら、一人のVさんが見たいのだから行きましょうと誘ってくれたので、二人で少しの間、爬虫類館でデートをしてきました。モノレールにも乗ったしとても楽しかったです。有り難う御座いました。

太田 圭子

Thank You 



電車が大好きだったので、乗って嬉しかったです。上野動物園に行つて、トラをガラス越しにけっ飛ばしてきました。他にもサルやライオンなどが可愛かったです。面白い動物園見学でした。動物園から出て、銀座ライオンでハンバーグを食べました。体が緊張していたし、暑かったので疲れたけれど、運良く雨に濡れることもなく、楽しい外に出ようでした。

飯尾 直美



いつ雨が降り出すかとハラハラしてました。  
はたして、閉会後の土砂降り、皆さんの日頃の行いの良さの賜です。  
この行事、多少のお手伝いをさせてもらいますが、私自身の楽しみでもあります。  
浅草は本当に久しぶりでした。老舗のてんぷら屋で天井に舌鼓を打つことができたのも、珍しい大道芸の猿回しを見れたのも、この行事に参加させていただいたお陰です。  
楽しい機会をありがとうございました。  
これからもいろいろな機会にご一緒させて下さい。

東京赤坂ロータリークラブ 会長 村山 公士

### 障害者は外に出よう

### ボランティアさん感想 ロータリークラブ編



拍手が少ないとい  
じけちゃうぞ〜!



「障害者は外に出よう」に参加して  
五月二十四日（日）に開催予定でしたが、当日はあいにくの悪天候のため中止と成り予備日と設定されていた五月三十一日（日）に開催されました。



班は十二班に編成されており当日が予備日であつた事もあり、予定されていたボランティアの数が減少しましたが、当赤坂ロータリークラブからは予備日にもかかわらず十一名のボランティアの方々が参加いたしました。  
当日の天候はスタートから曇り時々薄日がさす気持ちの良い天候でしたが、終了と同時に雨が降り出し、ボランティア活動中は皆の心掛けのお陰で無事でした。

今回のテーマは「古き良き東京をたずねて」  
浅草から谷根千まで!!!でしたが、各々の班が十分楽しんでもらえたと思っております。

十五時に全員が田町駅に集合し、当日の写真や川柳を取り交わしながら一日ボランティア活動を終えました。このボランティア活動は何ともいえぬ爽やかさと達成感を得る充実したものであります。

風の子会のスタッフの皆様、大変お疲れ様でした。また私自身この行事に参加出来る事を大変に嬉しく思っております。

最後に川柳を一句  
「古き良き 江戸をたずねて 風の子会」

東京赤坂ロータリークラブ 社会奉仕委員長 橋本年男



### 障害者は外に出よう

#### ボランティアさん感想 車いすとともに歩く会編



外に出ように参加して

車いすとともに歩く会の一員として小坂家から10班に2人で参加した。松本成子さんの家に伺い、田町駅到着し、写真撮影。浅草の仲見世、場外馬券売り場、江戸下町伝統工芸館を観て回り、記念写真もちょうと撮影、揚げ饅頭の買い食い。人形焼きや雷おこしのお土産を買って、俳句に悩みながら無事15時に田町駅に集合。懐かしい方に声を掛けて貰ってまたびっくり、本当に楽しい一日だった。

「浅草は、仲見世通りだけ」ということだったので、江戸情緒が残る観音裏（言問通りの奥）をちょっと覗こうと散策したら、雨天延期のおかげで柳通の植木市（お富士様の縁日）や浜口京子の記念樹を見ることが出来た。車いすの3人と小野塚ママ、とにかく体験談が面白く、喉を潤しながら、あっという間に昼休みが過ぎた。

帰りに田町駅の蕎麦屋で飲んでいたら、サムスンの張さんたちが大勢で来て合流、車いす利用者の家族の話もしっかり伺って大盛り上がり。かなり酔って「来年も、きつとね」と散会した。

次の「そとでよ」では、昼食場所を探しながら日暮里から上野まで「谷根千探求」も面白い。「夕焼けだんだん」では、コロッケの買い食い？解散式の後で「軽く（？）懇親会がしたい」という方は、声を掛けて欲しい。

帰宅後、写真を印刷して小冊子を作り、お礼の気持ちを込めて発送した。「川柳」が下手だったこと、リーダーの仲さんを置き去りにして雨に濡れさせたことなど、この小冊子でご勘弁頂けると有り難い。いつもながら事務局や代表者会議の皆さん、多くの参加者に感謝しています。

車いすとともに歩く会 小坂 順一



### 本部の皆様 本番当日はお疲れ様でした！！



古き良き東京を訪ねて  
浅草から谷根千まで  
当初予定していた五月二十四日が、あいにくの天気だった。予備日の五月三十一日に行うことにしました。今回は予備日も雨の為、通常より一時間早くの集合となりました。参加者の皆様は大変ご迷惑をかけてと思います。しかし、健康者が普段、見逃しがちなことも車椅子の障害者と歩くことによつて理解し、意外と多い放置自転車や道路事情の悪さなど障害者の目線で歩くことわかってくださることもあります。こういったことを理解していただければ、この行事をやった意義があります。ですのでこの行事は続けていく価値のある取り組みだと強く思います。今回参加してくださったボランティアの皆さんありがとうございました。

岡本 裕介

# 外に出よう 各班の行程

古き良き東京を訪ねて - 浅草から谷根千まで -

いつもありがとうございます



今回の外に出ようは予備日の為、合流した班が多かったです。そのため、各班の行程は正確なものかは定かではないのですが、ご了承下さいませ（≡\_ε）



## 1班&5班

三田駅ホーム 集合場所 → 浅草駅  
→ 浅草寺・仲見世 散策（食事）



→ 浅草公会堂 休憩 → 浅草駅  
→ 田町駅東口



## 3班

千駄木駅 集合 → 谷中墓地 散策  
→ 上野動物園 散策（昼食） → 上野駅  
→ 田町駅東口



## 2班

浅草駅 集合 → 仲見世通り 散策（昼食）  
→ 浅草 散策 → 浅草駅 → 田町駅東口



### 4班

田町駅東口 集合 → 上野動物園 散策  
→ 昼食 → 上野駅 → 田町駅東口



### 6班&8班

6班 溜池山王駅 集合、8班 田町駅 集合



東京文化会館 合流  
→ 上野動物園 散策  
→ 銀座ライオンで昼食  
→ 上野駅 → 田町駅東口



### 9班

田町駅 集合 → 上野動物園 散策(昼食)  
→ 上野駅 → 田町駅東口



### 7班

上野駅 集合 → 上野 散策(昼食)  
→ 谷中銀座 散策 → 田町駅東口



## 11班&12班

東照宮 散策 → 寛永寺 散策  
 → 田町駅東口



## 10班

田町駅 集合 → 仲見世通り 散策  
 → 浅草寺散策（昼食）  
 → ロックフラワーロード → 浅草駅  
 → 田町駅東口



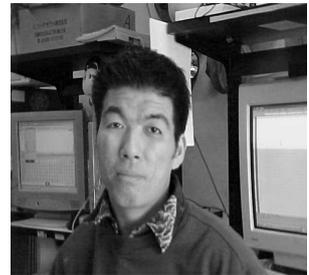
外に出よう  
 各班の行程

### 障害者は外に出よう ～古き良き下町を訪ねて～

5月31日、曇天の空の下、約百名近い参加者にお集まりいただき誠にありがとうございました。二十数年間の永きにわたり続けて来られたのは、ひとえに皆さんが私たちの活動に賛同してくれているからだと思自勝手に思っています。当日は曇り空でしたが、ある参加者の方から「天気が多々悪くてもまた違った一面の下町が観られて良かった。」というお声を頂き主催者としては、とても励みになり、この行事を続けていて良かったし、また続けていこうと思います。そしてこのような大人数が一同に介して移動する行事は他にはみられないと思います。これからもよろしくお願い致します。

#### 協賛団体

麻布13倶楽部様・港区身障運転者協会様・港区中途障害者会様  
 立教大学BSA第8支部様・港区重症心身障害者児（者）を守る会様  
 港区肢体不自由児（者）愛の会様・東京赤坂ロータリークラブ様  
 東京神宮ライオンズクラブ様・車いすとともに歩く会様  
 特定非営利活動法人風の子会様



三木 直人

### スケジュール

6月13日（土）  
 総会  
 6月17日（水）  
 運営委員会  
 7月11日（土）  
 歌と踊りの集い  
 7月14日（火）  
 総務部

### 寄付のお礼

寄付を下さった方

薛永日様 薛陳月美様 薛美莎様  
 薛美莉様 薛芬芳様  
 東京神宮ライオンズクラブ様

賛助会にご賛同をして下さった方

黒澤フミ様 波多野順治様、栄子様  
 塩崎良子様 司城多喜子様 湯川揚子様  
 小西雅子様 相蘇正義様 江尻公一様  
 小野由紀子様

ありがとうございました



（五月十日～六月六日）



# 虫めがね

今回からテーマは「自分がなりたい職業」です。夢は大きく果てしなく、大人になるにつれて現実的になるものですが、風の子会メンバーはどうでしょうか？

中学生の頃にアニメーションに夢中になった。それもただ観るだけではなく、原画や動画、BGMや効果音、アフレコなどのアニメーション制作の方に強く興味を湧いた。僕もそういう関係の仕事に就きたいと願ったが、セル画に絵を描くことなどできないので諦めた（当時はデジタルアニメという方法論はまだなかった）。高校に入り、創作コンクールというものがあり、同級生らが書いた作品を読む機会があった。正直に言って陳腐なものばかりだった。「これだったら僕の方がもう少しまともなものが作れるかも」そう思った。これが、僕が書き物をした最初のきっかけだ。結果は入選には届かず佳作どまりだったが、一つの作品を書き上げて発表するという満足感はそのなりに得られた（余談だが、友人も同様に投稿していて、そちらの方は入選となっていて、それは少しほろ苦い記憶である）。その後も何作か書き連ねてはみたものの、結局どれも未完のまま。できることなら、一つでもいいから作品を作り上げてみたい。そしてそれが映像化、しかもアニメーションで公開されるなんていう奇跡が起こったならば、中学の頃に憧れたアニメーションという業種に少しは関わることができるかもしれない。

小野塚 航



僕は今を重要視する（と言うより未来の事は全然考えない）タイプで、夢・願望もあまり無いのです（職業関係では）。其れが有ってか凄い就きたかった職業は無いのですが、強いて挙げるとするならば、グラフィックデザイナー等の絵を描く作業に携わる仕事です。僕は絵を模写するのが遠い昔の頃から好きで得意なので、其れ関係には興味は有りました。とは言え得意なのは『模写』だけで想像力も創造力も皆無なので向いてないかな・・・。

今としては、他人の為に働く職に就いてみたいです。運動が好きだし球技のほぼ全般が好きなので（見るのもやるのも）スポーツ選手にも就いてはみたいですが、さすがに・・・。

田村 亮彦



私が子供の頃はパイロットや警官、自衛隊になりたかった。なぜかと言うと鳥は空を自由に飛ぶ事が出来るが、我々人間にはその様な事は出来ない。とにかく空を飛び回り色々な所になるべく遠くへ行きたかった。当時の東京は高層ビルやマンションが余り無く高い建物と言ったら東京タワーと霞ヶ関ビルで、後は一戸建ての二階が多かった。だから空が広大だったので、鳥や飛行機やヘリコプター・富士山などがよく見えた。だから余計青空飛びたかったのかもしれない。北養護高等部になると進路問題に突入したが私の身体は重度の障害を背負っている為、なかなか自分に合った所が見つからず一番最後まで残ったのは私とM君だった。結局、二人とも現在の風の子会（当時、サークルアラクス）へ入会した。青春真っ只中の障害者とボランティアが居て楽しく愉快に活動していた。

私はもう一つやりたい事が有った。それは社会福祉に目を向け障害者の悩みや相談を受けるケースワーカーになりたかったのだ。その為には公務員の資格が必要で大学や社会福祉専門学校を出なければ成れなかった。当時、車椅子使用者は受け入れてくれない所が多かったのと私は頭がそれほど良くなかったので入学できなかった。非常に残念だった。

幸  
高史



僕が子供の頃になりたかった職業は、スポーツ選手です。憧れもあったかもしれませんが、スポーツ選手になりたかったです。特に、レスリングやサッカー選手になりたかったです。今でもテレビのスポーツ番組を見るのが好きで、自分でやることも大好きです。障害者も、スポーツ大会やパラリンピックなどに参加できるので、スポーツ選手になりたかったです。実際に、学生時代に陸上競技の大会に出場をしたこともあります。あと一つは、スーパーモデルをやりたいかったです。というのも、両親の二人が昔モデルをやっていたからです。母は独身時代に、父は僕が小学生の頃から高校生までやっていました。障害者でもファッションモデルやコマーシャルのモデルが出られるようになれば、今でもチャレンジしてみたいです。

田中 聡

自分がなりたかった職業は、木村拓哉みたいなアイドルになりました。歌って、踊れる人になりたいからです。もし芸能人になったら、ドラマで拓哉を弟役にしたいです。

右田 磨子





今年もまたTシャツ・タオルの販売の季節がやってきました。企画班は一所懸命に営業活動をしています。みなさんどうぞパンフレットに目を通してください。

メンバーの出席率が低いときは、いつもの作業をやめてみんなでおでかけをしたりしています。先日も、みんなで行き先を決めて東京タワーに行ってきました。これからも、いろんな企画を挙げて、楽しんでいければいいなと思っています。

小野塚 航



# 実習所報告

## 風企画

東京タワーの展望台から下をのぞきました。



## 風工房



和紙作りのミキサーをやっていますが時間の調整が難しいです。夏に向かってハガキに涼しげな色を付けるため紺の色紙を入れています。ストラップの丸は材料を一新し、新たに生まれ変わりました。お値段はそのままです。他には、内職のお箸入れをやっています。

野田 広一



## 夕会報告

【五月十六日】  
外に出ようの全体集会のため、夕会はありませんでした。

【五月二十三日】  
歌と踊りの練習をやりました。みんなで作ったお面を付けての演技を始めました。

【五月三十日】  
歌と踊りの練習をやりました。休みの人が多かったので、練習が難しかったです。

【六月六日】  
恒例の港特別支援学校の夏祭りに参加するかどうかを話し合いました。日には七月十八日です。お休みの人もいたので、参加者はまた今度決めることになりました。  
その後、また歌と踊りの練習をやりました。



松本 恵司

# 母の思い出

第十七回（最終回）

太田 稔

ところが一つ問題が出てきたのである。それはどういう問題かというところ、僕が毎日母のところに行けないと、妹が反対してくれたのだ。「そんな遠いところでは、お兄ちゃんが毎日通えないじゃないの。もうちよつと近いところの方がいいと思うの、私はね。このとき僕は主治医のところへ電話を掛けたらどうかと妹に相談を持ちかけた。すぐ電話を掛けてくれる。主治医は言ってくれる。「私もそう思っていたよ、私の知り合いの先生が渋谷の日赤病院におられるからそこに電話を掛けて聞いてやるよ」僕は先生のその言葉を聞いて涙が出るほど嬉しかった。そしてすぐそれは実行に移された。母はその週の日曜日を使って病院の引越をした。上野から渋谷まで、途中青山にも車を止めて家にも寄ってくれる。「これで明日から私のところに連れてきてもらえる人さえいれば連れてきてもらえるわねえ」笑いながら母は続ける。「それにしてもこの部屋がいぶんキレイになったわねえ」そして次の日からは、都合が付く限りは僕の友達や渋谷の日赤病院に連れていかれた。しかし母はだんだんからだに弱り始めたのである。食欲は極端に減少、病院で出される食事も殆ど口にしない有様、主治医に聞くと「お気の毒ですがガンの末期的症状です。下手に治療するとお母様の体が参ってしまう」僕はそれを聞かされたとき、泣くのをこらえるのが精一杯だった。母とばかり一緒に暮らしていた僕にとつて全くそれは予期できないことだった。死を宣告されてからの母は、四月のある日、僕が病院に行くと、「お医者様に、ああいわれたのがショックで、私自殺しようかと思ったのよ。でも自殺というのは意外と難しいものね。」僕は生まれて初めて母のことを怒った。「お袋、どうしてそんな弱気の心になるの。僕が十代の頃お袋に、自殺したいと言ったらお袋、なんて言ったと思う？稔、馬鹿なこと言っているんじゃないわよ、せつかく神様がこの世に命を下さったのだから命だけは大切にしないで駄目、といつて僕のことを叱ってくれたじゃないか。」僕は続けた。「お袋の気持ちにはよく解る、けどお袋をまだ必要としている人たちが僕と妹たちを始めとしていっぱいいるんだよ。」母は僕の話聞いていたが「稔にお説教をされるとは思わなかったわ。いつの間にか、貴方も大人になったのね。」母は涙ぐんでいた。母は、それからこんな事も心配してくれていたらしい。（私が死んだら稔の世話は誰がするのだろう、久美子は家の用事が忙しいだろうし、そうしたら稔はいつか面倒を誰が見てくれるのだろう）母のガンの病状は、日に日に悪化していった。そして昭和四十六年六月三十日、母は永眠の途についた。五十三歳という若さだった。母が亡くなった日の事をちよつと書いてみよう。うちの母が亡くなったのはもう二十数年も前のことだから（母はしかも病院で亡くなったため、詳しい時間は家に帰って調べてみないと分からない）よく覚えていないが、天気は良く晴れていたと思う。さて母が亡くなったことにより、ものすごく忙しかったのは妹である。弔問に訪れるお客様の相手をしなければならぬ。僕の面倒は見なくてはならない。妹は初七日ごろにはふらふらの状態になってしまったのだ。そして二週間くらい経った頃、妹は僕にしみじみこんな事を言ったのだ。「お兄ちゃん、人間一人死ぬって事は大変なことなのね、私それが今度のことでもよく解ったわ。お兄ちゃん、長生きしてね。」妹は、このとき本当に疲れ切っていたらしい。「こゝで妹が、偉かったことを一つ書いておこう。それは母が亡くなった後、カミさんと結婚する間、僕の面倒を三年間見てくれたと言うことである。この三年間、ヘルパー制度は始まったものの週一回、しかもわずか二時間だった。だから今考えてみると妹に僕は今ものすごく感謝している。「母の思い出」は、これで終わります

終

## わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

### 第19話 ゼミに入る

僕が入った学部は、人文学部人間関係学科というところで主に社会学や心理学などを専攻する。卒業するためには論文を書いて教授に提出し、合格不合格を審査してもらわなければならない、そのためにはゼミに入らなければならない。そのゼミには3年から入る事になる。

普通は2、3のゼミを見学したりするのだろうが、当時の僕はいわゆる“学生生活”というものをほとんどしておらず、ゼミ選びも講義要目という分厚い冊子に書かれている各ゼミの紹介をざっと読んだだけで決めてしまった。そんな適当な決め方だったにもかかわらず、そのゼミは僕にはとても刺激的でアカデミックな場所で、サボり癖が体にしっかりと身に付いていた僕がゼミだけは毎週欠かさず通っていた。

出会いというのは、不思議なものだと思ってしまう。

ゼミは木曜の4限目、午後3時10分から始まる。最初のゼミの日、僕は多少の緊張感を抱えながら教室の扉を開けた。教室には僕と同じ3年生が十数名、そして明らかに学生とは思えない年の人達が数名、椅子に座っていた。僕は比較的控えめに、教室の隅の方の席に腰を降ろした。

教授が部屋に入ってくると、学生とは思えない人達と軽く世間話を始めた。会話のやりとりの感じから、どうやらこのゼミのOBらしい。平日の日中から大学のゼミに参加するとは驚きだ。しかも彼らはほぼ毎週のようにやってくるのだ。

このゼミは、一年間を通して一つのテーマを徹底的に議論しあう、というものだ。毎週、2、3人の担当者を決めてレジュメを準備してもらい、それをたたき台にしてみんなで考え合うのだ。ちなみにこの年のテーマは「やさしさとは何か？」だった。本多勝一という社会学者の著書を手がかりに、やさしさって一体どういうことなんだろう、ということを中心に専門的に学術的に論じ合うのだ。

4限目が終わるのは5時10分前。けれどこのゼミはたいてい時間通りには終わらない。終了のチャイムなどまるで聞こえないかのようにゼミは続く。時には学部棟を締める頃になっても終わらなくて、教授棟に場所を移して続けるなんてこともあった。初めのうちはそういうペースに戸惑っていたが、時間で区切らずに徹底的に話をするというスタンスにとっても惹かれた。

僕にとっての、寮以外の学生生活の、新しい世界の発見だ。

そしてこのゼミでの出会いが、寮生活から次のステップへのあるきっかけとなるのだが、それはまだ少し先の話である。

～ 第20話につづく ～

### 5月13日【予定決め】

7月上旬迄の予定を決めました。時期的に歌と踊りの練習が予定に入ってきました。今回は国語や算数、北朝鮮問題など勉強系が多く決まりました。前回の予定決めでは珍しく挙がらなかった映画鑑賞ですが今回また復活しました。今度観る映画は「かあべえ」です。やっぱりみんな映画は好きみたいです。



### 5月20日【歌と踊り準備】

みんなで、歌と踊りの出し物の小道具作りをしました。段ボールで舞台背景を作り、画用紙にいろんな動物の絵を描きました。小道具作りはこの日にほぼできあがったので、あとは練習を重ねて本番に備えるだけです。



# 学習会報告

和栗&小野塚



### 6月3日【算数・ボーリング】

前半の算数は田中くんが先生役で勉強をしました。分数の考え方や足し算を教えてくださいました。なかなかかっこいい先生でした。後半のボーリングは今回で確か4回目。これでようやくみんな最終フレームまで到達しました。

### 5月27日【国語・落語鑑賞】

この日は、前半は国語を学び、後半は落語鑑賞をしました。国語は職員の丸岡さんが担当でした。日本語の成り立ちや、普段何気なく使われている言葉の意味をわかりやすく教えてくださいました。後半は落語で関西の落語を聞いたのですが、独特の言葉遣いが多くてちょっとわかりづらかったです。



# ☆風の子商品はいかがですか☆

いつも風の子商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
今年もTシャツ・タオルと一緒に風の子商品を紹介します。  
是非、Tシャツタオルと併せてご注文下さい。  
今後ともなおいっそう風の子商品を宜しくお願いいたします。

## 産地直送の日本茶

（静岡から仕入れている美味しいお茶です）

☆特選やぶきた茶	100g	¥1000
☆やぶきた茶	200g	¥1200
☆ほうじ茶	200g	¥400
☆玄米茶	150g	¥300

## きょうされんふきん

（丈夫で長持ち。使いやすいふきんです）

1枚	¥210
3枚	¥600
5枚	¥1000

## アクアモック

（米糠100%の洗剤で手も荒れず他の物にも使えます）

☆食器用洗剤	280g	¥300
☆専用スポンジ		¥150

## ハガキ作ります。

（デザインのご注文承ります）

☆ハガキ印刷（モノクロ）	1～10枚	¥1000
☆ハガキ印刷（カラー）	1～10枚	¥1500

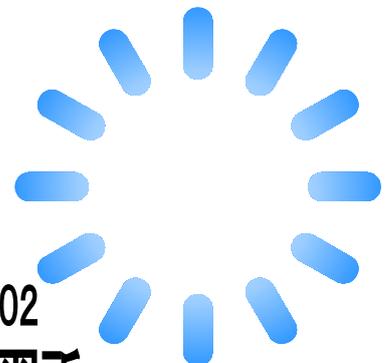


〒108-0075

港区港南1-1-27 カナルサイド高浜302

NPO法人風の子会・高浜生活実習所

電話 03-5479-7155 FAX 03-5479-0180



# 2009年 Tシャツ・タオル販売のお知らせ

私達風の子会は、きょうされん（旧称：共同作業所全国連絡会）に加盟している港区の障害を持つ人達が集まる共同作業所です。

さて、今年も夏季販売の時期がやってまいりました。この「Tシャツ・タオル」の販売は、毎年行っているもので、とても好評です。

今回きょうされんは、全国の作業所等で描かれたデザインがプリントされたTシャツやタオル、バッグを販売しております。

障害者自立支援法による厳しい状況の中で、施設運営の維持や工賃アップは切実な問題となっています。この販売活動はきょうされんや作業所の活動資金、障害のある人達の収入を得る為の活動です。初の栽培キットセットや作業所応援Tシャツ・タオル、キャラクター等、取り揃えております。

同封しましたパンフレットを是非ともご覧下さい。申込用紙も同封してあります。たくさんの方々にご愛用されることを心待ちにしております。

## 注文方法

※注文方法は以下の二通りあります。

- 風の子会高浜生活実習所へ電話又はFAXで注文。
- 風の子会高浜生活実習所へ注文用紙を持ってくる。

\*・・・商品のお届けは、ご注文締め切り後、約10日前後とさせていただきます。

\*・・・港区内は、配達致します。  
配達の際は、代金引換となります。

\*・・・郵送の際はお手数ですが、同封する振り込み用紙にてお近くの郵便局にてお振り込み下さい。  
(手数料は無料です)。お買い上げ金額が5000円以下の際は、送料をご負担願います。

## 締め切り日

**第1次締め切り日 7月 4日（土）**

**第2次締め切り日 7月18日（土）**

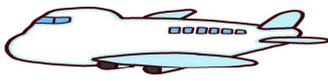
今年は大時代時代の友人や先輩と会う機会が多い。彼らと会うと、当時の匂い、さ、意地っばりさなど、今ではもう失ってしまった。それらをも一度取り戻したいと強く思う。それらを失ってしまったことを感ずるのか、関西の先輩は会うたびに僕に説教する。「もっと胸を張れ！」「可能性の幅を自分で決めるな」「頭だけで考えるな」等々。先輩は僕のことを本気で叱ってくれる。だからこそ、僕も応えたいと思える。進みたいし、今、僕が被ってしまった殻を破りたいと願っているのだ。

小野塚 航



三菱から電気自動車の『アイミーブ』が7月下旬に発売、というニュースをテレビで見ました。1回の充電で160キロ走行可能で最高速度は130キロ。200ボルトの普通充電なら約7時間で完了し、急速充電なら約30分で80%充電できるみたいです。充電1回当たりの電気料金は、昼間で450円程度、夜間なら150円で済み、燃費はガソリン車の約3分の1になるそうです。価格は459万円もするみたいですが自治体の減税を効かせれば約300万円で買えると聞きました。これからもっと車両価格が下がり、ワゴン車のハイブリッドエコカー&電気自動車をどんどん自動車メーカーに開発してもらいたいです。

佐久間 庸



春のゴールデンウィークから、新型インフルエンザが海外で大発生をして、五月十五日ごろには、大阪や神戸で新型インフルエンザが発生をしたことは記憶にザが家族やご自身は大丈夫でしょうか！七月二十日ごろから八月三十一日まで、夏休みになり、海外旅行を計画されている方は充分に気を付けて下さい。

タナツキ



ひとりぼっちの障害者をなくそう  
**特定非営利活動法人・風の子会**  
 ~定価40円~

編集者  
 小太田 正圭  
 佐久間 亮  
 田村 亮  
 三木 直人  
 幸木 史郎  
 和田 久彦  
 吉田 恵子  
 松本 聡子  
 右田 恵子  
 久代 恵子

編集人：【高浜生活実習所】  
 生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
 TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://www.kazenokokai.npo-jp.net/>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
 東京都世田谷区砧6-26-21

